
いつもの場所で。

森山羽姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつもの場所で。

【Nコード】

N2420D

【作者名】

森山羽姫

【あらすじ】

何となく訪れた真夏の海。そこでの出会い。これって運命？それともたまたま？

第一話（前書き）

初めて書かせていただきます！

至らないことだらけだと思いますが、よかつたら読んでみて下さい
（汗）

第一話

会うときはいつも

お馴染みの場所

また、会おうって約束する

『いつもの場所で。』

「姉ちゃん、どこ行くの」

「ちよつと散歩」

弟の問いにそっけなく答えた私は、ワンピースにパーカというラフな格好。

足元はビーチサンダル。

お洒落からだいぶ遠ざかってるけど、全くもって問題なし。だって絶対知り合いには会わないもん。

私は今、地元から離れた海辺の街に來ている。街というより、町。私の住んでいる場所に比べたら田舎。っていうか、ここは俗に言う田舎。

どうしてそんな町に來ているかというと、お母さんの妹の出産のため。

私のお父さんは単身赴任だし、どうせだから、とお手伝いに來ている。

私と弟は、海という言葉に釣られてやって來ただけ。

お母さんの妹、麻奈美さんのお腹はもうパンパン。だけど本人は至って元気で、よく暇な私を見つけては「千夏ちゃん！」と呼んでくる。

あ、千夏って私の名前ね。

夏生まれだから、という普通の名前。身長は少し小さくて、ルックスも普通。

成績はまあまあ…普通かな。

どこにでもいる高校一年生で、平凡な日々を送っていた。

でも、ここには友達も先生もいない。

授業も宿題もない。

嘘…宿題がありました。

とにかく違う場所で、なんだか自由な気持ち。今なら何だって出来
そうな気分。

あくまで気分ね。

とりあえず初めて訪れる地だから探検しなきゃ、と思って辿り着い
たのが、海。

海に来るのは久しぶりだ。

浜辺に腰を下ろして、回想してみる。

まだ小さかったころ、クラゲに刺されてとても痛かったのに

「痛くないもん！」

と言って泣いていた自分。

あの頃から強がりだったなあ。

少し大きくなってから、友達とビーチバレーしたときは、負けても
負けても

「早く次やる！」

とか言ってた。

負けず嫌いもあの頃から。

かわいくない自分の過去に、思わず苦笑。

気付くと夕日が沈みかけている。

砂浜にいたのは、散歩してるおばさん達とランニングしている少年と自分だけ。

立ち上がって砂を払い、家の方向へ足を向ける。

これからこの町で何が待っているかなんて知らず、今日のご飯はカレーがいいなあ、なんてありきたりな妄想をしていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2420d/>

いつもの場所で。

2010年10月25日02時42分発行